UNIVERSITY OF TOYAMA 富山大学

平成29年度 前学期

富山大学 オープン・クラス 受講生募集要項

県民カレッジ連携講座

オープン・クラスとは

富山大学では、
「オープン・クラス」と称して、
学生のための通常の授業を
地域のみなさまに公開し、
学びの場を広く提供しています。
ぜひ本学の学生・教職員と
一緒にキャンパスライフを
ご体験ください。

富大生と一緒に学びませんか？

富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

平成 29 年度前学期授業日程

キャンパス	五福キャンパス	高岡キャンパス	杉谷キャンパス
授　　業	4月10日(月)～7月27日(木) ※一部日程が異なる科目があります。 「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。		
補　　講	7月28日(金)～8月3日(木) ※科目によって異なる場合があります。担当教員の指示に従ってください。		
注　　意	＊5月2日(火)は金曜日の授業を行います。		

授　業　時　間

時限	1　限	2　限	3　限	4　限	5　限	夜1限 （6限）	夜2限 （7限）
時間	8：45 ～ 10：15	10：30 ～ 12：00	13：00 ～ 14：30	14：45 ～ 16：15	16：30 ～ 18：00	18：05 ～ 19：35	19：40 ～ 21：10

富山大学のオープン・クラスについて

富山大学では、本学の授業を「オープン・クラス」と称して公開し、学生とともに教室で受講していただく一般市民の方々を募集します。

これは、本学が行う大学開放活動の一環で、各学部及び教養教育（以下「学部等」という。）が開設している授業を公開し、生涯学習に対する社会的要請に応えるとともに、地域社会と大学との連携をますます深めようとするものです。

この機会に、ぜひ本学の学生・教職員と一緒にキャンパスライフをご体験ください。

なお、「オープン・クラス」の受講に当たっては、受講生（注１）として登録していただく必要があります。受講手続については、各キャンパスで異なりますのでご注意ください。

また、授業はあくまでも本学の学生を対象にしたものであるため、授業内容がご希望に沿うものであるかどうかを試聴期間中に充分ご検討されたうえで、ご登録ください。

（注１）「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

富山大学地域連携推進機構　生涯学習部門

目　　次

富山大学のオープン・クラスについて

五福キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 4
Ⅱ　受講手続 …… 5
Ⅲ　受講に際して …… 6
Ⅳ　その他 …… 7
オープン・クラス授業科目一覧
○教養教育
・教養教育（五福）…… 8
○専門科目
・人文学部 …… 10
・人間発達科学部 …… 12
・経済学部、大学院経済学研究科 …… 14
・理学部 …… 16
・工学部 …… 19

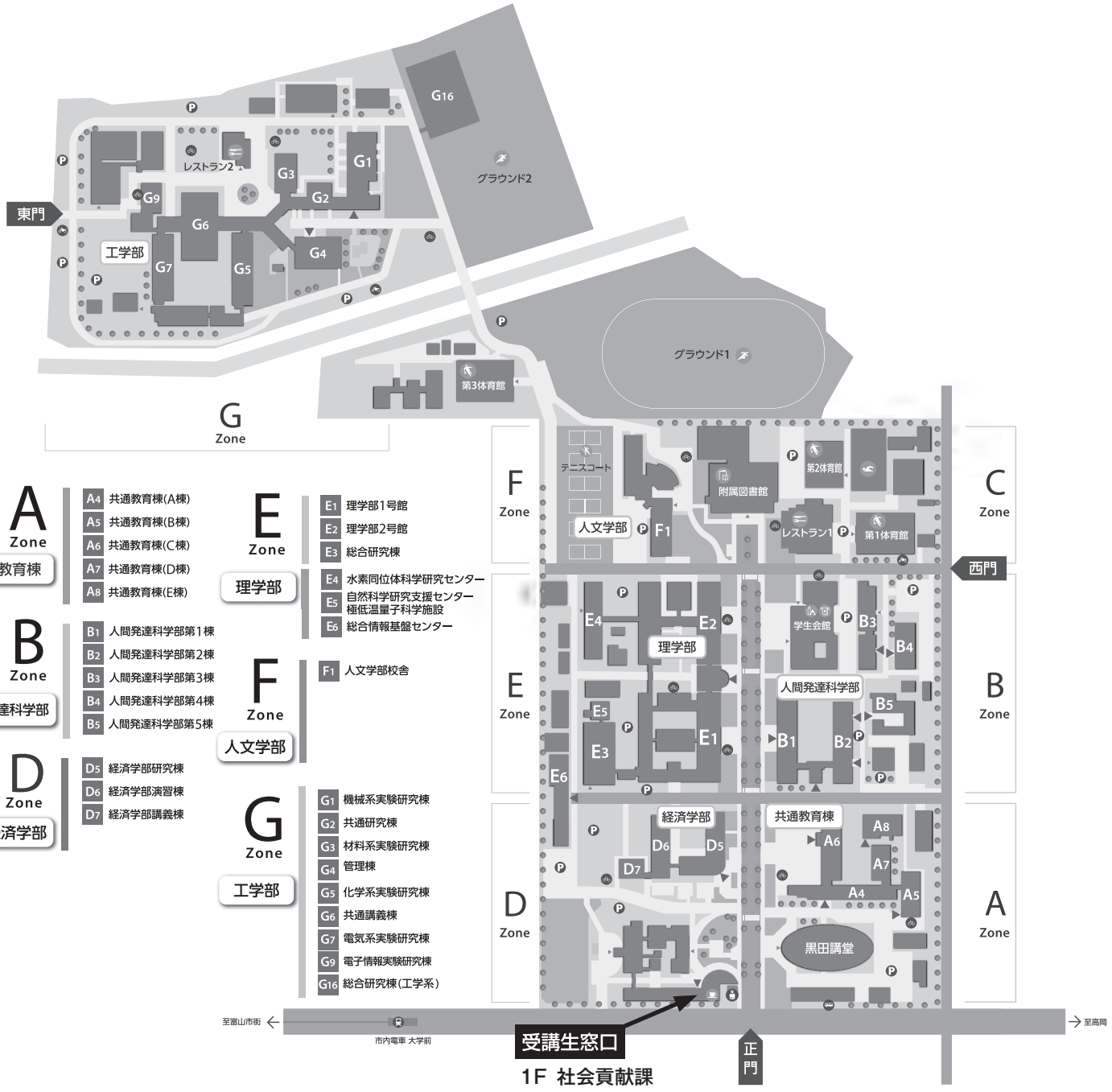
高岡キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 24
Ⅱ　受講手続 …… 25
Ⅲ　受講に際して …… 26
Ⅳ　その他 …… 27
オープン・クラス授業科目一覧
・芸術文化学部 …… 28

杉谷キャンパス

Ⅰ　実施形態 …… 30
Ⅱ　受講手続 …… 31
Ⅲ　受講に際して …… 32
Ⅳ　その他 …… 33
オープン・クラス授業科目一覧
○教養教育
・教養教育（杉谷）…… 34
○専門科目
・医学薬学教育部（博士課程）…… 34
受講希望調書 …… 35

五福キャンパス



<五福キャンパス受講生窓口>

富山大学　社会貢献課

〒930-8555　富山市五福3190

TEL　076－445－6956　FAX　076－445－6033

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（Ｐ８～Ｐ 21 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

Ａ　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

Ｂ　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

Ｃ　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

Ｄ　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受け付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 29 年４月 10 日（月）～平成 29 年７月 27 日（木）**です。

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の「平成 29 年度前学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　試聴期間中の授業は試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

(受講希望調書の提出)

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **３月13日(月)から３月28日(火)まで** に下記五福キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　社会貢献課
〒930-8555　富山市五福3190
ＴＥＬ　076－445－6956　ＦＡＸ　076－445－6033
月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受け付けています。(祝日を除く)

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

(受講の試聴期間)

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、以下のように「試聴期間」を設けます。この期間中に受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

試聴期間：平成29年４月10日(月)～４月21日(金)

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

(受講科目の登録)

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴期間中に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、五福キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

五福キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

(受講料の納付等)

5　受講登録と同時に、五福キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300円（税込）

(**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。)

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や各学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、五福キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。また、自転車でお越しの方は、指定の駐輪場に、施錠した上で停めてください。これに違反したトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

また、五福キャンパス受講生窓口においてもシラバスの閲覧ができます。

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、学部等においてもお問い合わせできます。

○　教養教育
　　学務課　教養教育チーム　　電話 076-445-6031
○　人文学部
　　人文学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6138
○　人間発達科学部
　　人間発達科学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6258
○　経済学部
　　経済学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6517
○　理学部
　　理学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6546
○　工学部
　　工学部総務課　教務担当　　電話 076-445-6698

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（五福）

＊教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	哲学のすすめ	永　井　龍　男	月５	未定	5	A	
2	哲学のすすめ	池　田　真　治	火２	未定	若干名	A	
3	人間と倫理	田　畑　真　美	火２	未定	3	A	
4	こころの科学	坪　見　博　之	木１	未定	3	A	パソコン使用（Moodle 使用）Moodle2(web)を利用して講義資料を配布します
5	こころの科学	黒　川　光　流	木２	未定	5	A	
6	現代と教育	増　田　美　奈	月６	未定	5	A	
7	日本の歴史と社会	熊　谷　隆　之	火２	未定	5	A	
8	西洋の歴史と社会	徳　橋　　曜	木２	未定	3	A	
9	日本文学	奥　野　美友紀	火１	未定	5	A	
10	日本文学	小　谷　瑛　輔	火２	未定	10	A	学生に混じってグループを組んで、相談したり、発表したりして貰います。グループごとの評価のために毎回出席して頂く必要があります。
11	外国文学	佐　藤　真基子	月５	未定	5	A	
12	外国文学	佐　藤　真基子	金１	未定	5	A	
13	言語と文化	安　藤　智　子	火１	未定	3	A	
14	言語と文化	小助川　貞　次	火１	未定	10	A	
15	言語と文化	樋　野　幸　男	木２	未定	5	A	
16	言語と文化	森　　俊	月５	未定	5	A	
17	美術	鼓　み　ど　り	火２	未定	5	A	
18	現代社会論	橋　本　　勝	火２	未定	3	A	
19	現代社会論	橋　本　　勝	月２	未定	3	A	
20	現代社会論	竹　村　　卓	金１	未定	2	A	毎回ニュースウォッチの提出を求める（受講絶対条件）
21	現代社会論	橋　本　　勝	月７	未定	3	A	
22	国家と市民	秋　葉　悦　子	火２	未定	5	A	
23	国家と市民	八　百　章　嘉	火１	未定	5	A	
24	経済生活と法	石　田　　眞	金１	未定	3	A	

学部等名：教養教育

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
25	市民生活と法	橋　口　賢　一	木２	未定	3	A	
26	はじめての経済学	山　田　潤　司	火２	未定	3	A	
27	経営資源のとらえ方	森　口　毅　彦	木２	未定	5	A	
28	市場と企業の関係	坂　田　博　美	金１	未定	若干名	A	
29	地域の経済と社会・文化	根　岸　秀　行	木２	未定	3	A	
30	地域の経済と社会・文化	鈴　木　晃志郎	月２	未定	何名でも可	A	
31	地球と環境	渡　邊　　了	金１	未定	何名でも可	A	
32	地球と環境	石　﨑　泰　男	木１	未定	5	A	
33	化学物質の世界	原　　正　憲	木１	未定	10	A	
34	物理の世界	喜久田　寿　郎	月２	未定	10	A	
35	物理の世界	西　村　克　彦	月５	未定	5	A	
36	物理の世界	小　林　かおり	木２	未定	5	A	
37	物理の世界	榎　本　勝　成	火１	未定	5	A	
38	自然と情報の数理	黒　岡　武　俊	月５	未定	5	A	
39	自然と情報の数理	阿　部　幸　隆	火１	未定	何名でも可	A	
40	自然と情報の数理	菊　池　万　里	月１	未定	1	A	
41	技術の世界	小　熊　規　泰	水６	未定	10	A	
42	材料の科学	田　口　　明	火１	未定	5	A	
43	生活の科学	孫　　珠　熙	月５	未定	5	A	
44	コンピュータの話	唐　　政	火１	未定	15	A	
45	ドイツ語Ｂ (3)	阿　部　美　規	月４	未定	5	B	事前に簡単な面接を行います。
46	ロシア語Ｂ (3)	カザケーヴィチ　マルガリータ アレクサンドロヴナ	金４	未定	3	B	日本語での説明はなくロシア語で授業をすすめる
47	ロシア語Ｂ (3)	武　田　昭　文	月２	未定	5	B	ロシア語初級文法（本学共通教育ロシア語Ａ１Ｇ、Ａ２Ｇ相当）を学修済であること
48	中国語Ｂ (3)	末　岡　　宏	金４	未定	5	B	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）火４の方が望ましい
49	中国語Ｂ (3)	末　岡　　宏	火４	未定	5	B	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
50	朝鮮語Ｂ (3)	和　田　とも美	月２	未定	5	B	学習歴２年目程度対象
51	ラテン語Ｂ３	佐　藤　真基子	月２	未定	5	A	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

○専門科目

学部名：人文学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	哲学概論	永　井　龍　男	月・2	未定	3	B	
2	西洋思想史	永　井　龍　男	火・2	未定	3	B	
3	西洋古典語	永　井　龍　男	木・5	未定	3	B	
4	哲学演習	永　井　龍　男	金・4	未定	3	B	
5	倫理思想	澤　田　哲　生 田　畑　真　美 松　﨑　一　平	火・3	未定	5	B	
6	東洋思想史	田　畑　真　美 末　岡　　宏 鈴　木　信　昭	木・3	未定	3	B	国際文化特殊講義と同時開講
7	人間学演習Ⅰ	田　畑　真　美	木・4	未定	3	C	
8	音声学Ⅰ	呉　人　　恵	火・3	未定	3	B	
9	言語学概論Ⅱ	安　藤　智　子	月2	未定	3	B	
10	心理学概論Ⅱ	黒　川　光　流 喜　田　裕　子 坪　見　博　之	金・2	未定	5	A	
11	日本史特殊講義	鈴　木　景　二	月・3	未定	若干名	B	
12	史学概論	鈴　木　景　二 澤　田　　稔 入　江　幸　二	月・2	未定	5	B	
13	日本史概説Ⅱ	熊　谷　隆　之	金・2	未定	5	B	
14	古文書学実習	熊　谷　隆　之	木・4	未定	5	B	
15	西洋史概説Ⅰ	入　江　幸　二	月・1	未定	5	A	
16	西洋史特殊講義（1）	南　　祐　三	火・2	未定	5	B	
17	考古学概論	髙　橋　浩　二	火・1	未定	若干名	B	
18	社会文化特殊講義	佐　藤　　裕	月・4	未定	若干名	B	
19	人文地理学実習1	鈴　木　晃志郎	月・3，4	未定	若干名	B	パソコン使用 （端末室の授業）
20	社会文化講読	藤　本　　武	火・3	未定	若干名	B	
21	国際関係論特殊講義	竹　村　　卓	木・1	未定	2	B	学期末試験受験可
22	社会文化講読	竹　村　　卓	金・3	未定	2	B	諸表作成、提出物多
23	国際関係論特殊講義	林　　夏　生	水・1	未定	若干名	B	
24	国際文化特殊講義	末　岡　　宏 鈴　木　信　昭 田　畑　真　美	木・3	未定	3	B	東洋思想史と同時開講
25	外国語演習（中国語）	末　岡　　宏	月・3	未定	5	B	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
26	中国文化講読	末　岡　　宏	木・4	未定	5	C	
27	朝鮮言語文化講読	上　保　　敏	金・4	未定	3	B	
28	朝鮮語コミュニケーション（会話）	宋　　有　宰	木・1	未定	5	B	

学部名：人文学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
29	中国言語文化講読	大　野　圭　介	月・4	未定	若干名	B	現代中国語の初級を履修済であることを前提として授業を行う。
30	中国言語文化特殊講義	大　野　圭　介	金・2	未定	若干名	B	
31	英米言語文化演習Ⅰ	恒　川　正　巳	木・2	未定	3	B	
32	英米言語文化講読Ⅱ	恒　川　正　巳	金・2	未定	3	C	
33	英米言語文化講読Ⅰ	大工原　ちなみ	水・1	未定	3	B	
34	英米言語文化演習Ⅱ	大工原　ちなみ	水・2	未定	3	C	
35	英語学講読Ⅰ	奥　村　　譲	金・3	未定	3名程度	B	
36	ドイツ文学史	宮　内　伸　子	火・1	未定	3	B	
37	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（1）	ヴォルフガング　ツォウベク	火・2	未定	2	B	
38	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（1）	ヴォルフガング　ツォウベク	火・3	未定	2	C	
39	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅰ（2）	ヴォルフガング　ツォウベク	金・2	未定	2	B	
40	ドイツ語コミュニケーション（会話）Ⅱ（2）	ヴォルフガング　ツォウベク	金・3	未定	2	C	
41	ドイツ語コミュニケーション（作文）初級	ヴォルフガング　ツォウベク	水・3	未定	2	B	
42	ドイツ語コミュニケーション（作文）中級	ヴォルフガング　ツォウベク	水・2	未定	2	C	
43	ドイツ言語文化演習Ⅰ	ヴォルフガング　ツォウベク	火・4	未定	2	B	
44	フランス文化論	中　島　淑　恵	月・3	未定	2	A	
45	フランス言語文化講読	中　島　淑　恵	月・4	未定	2	A	
46	ロシア語学概論	中　澤　敦　夫	火・1	未定	5	B	
47	ロシア言語文化講読Ⅰ	中　澤　敦　夫	木・4	未定	5	B	
48	ロシア言語文化演習Ⅱ	中　澤　敦　夫	木・3	未定	5	C	
49	実践ロシア語演習Ⅰ	カザケーヴィチ　マルガリータ	水・3	未定	5	B	
50	実践ロシア語演習Ⅱ	カザケーヴィチ　マルガリータ	水・2	未定	5	C	
51	実践ロシア語演習Ⅲ	カザケーヴィチ　マルガリータ	金・2	未定	5	C	
52	ロシア言語文化特殊講義Ⅱ	カザケーヴィチ　マルガリータ	水・4	未定	5	C	
53	ロシア文化論	カザケーヴィチ　マルガリータ	金・4	未定	5	C	
54	ロシア語学概論	カザケーヴィチ　マルガリータ	木・3	未定	5	B	
55	生涯学習概論	藤　田　公仁子	火・2	未定	10	A	
56	博物館教育論	藤　田　公仁子	水・5	未定	10	B	
57	博物館情報・メディア論	黒　田　　卓	月・2	未定	5	B	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用） ※研究室で独自に運用している Moodle

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。
※授業曜日･時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：人間発達科学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	心理統計学	小川　亮	金・2	人間端末室	3	B	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
2	発達臨床心理学	近藤龍彰	火・4	人間 114	5	B	
3	児童心理学	姜　信善	火・5	人間 142	3	B	
4	臨床心理学	石津憲一郎	月・2	人間実践センター	3	B	
5	社会心理学	佐藤　徳	木・4	人間 142	5	B	
6	教育法規	笹田茂樹	月・2	人間 141	3	A	
7	学習指導	長谷川春生	木・1	人間 111	5	A	
8	保育内容（人間関係）	小林　真	金・2	人間 111	5	B	
9	保育内容（言葉）	若山育代	水・2	人間 112	3	A	
10	社会福祉概論Ⅱ	志賀文哉	木・2	人間 114	10	B	
11	心理学	小林　真	火・3	人間 111	3	A	
12	公的扶助論	志賀文哉	月・4	人間 113	10	B	
13	臨床発達心理学	小林　真	火・5	人間 111	3	B	
14	知的障害児の心理Ⅰ	宮　一志	木・4	人間 112	10	B	
15	肢体不自由児の心理・生理・病理	宮　一志	月・1	人間特支実	10	B	講義室については、別途お問い合わせください。
16	児童福祉論	西館有沙	木・3	人間 113	5	A	
17	社会的養護	西館有沙	火・4	人間 117	5	B	
18	スポーツ文化論	大川信行	月・2	人間 331	3	B	
19	バイオメカニクス	堀田朋基	木・4	人間 311	3	B	
20	スポーツ医学	布村忠弘	木・5	人間 331	5	B	
21	身体コミュニケーション	布村忠弘	木・3	人間 311	3	B	
22	スポーツマネジメント	神野賢治	月・4	人間 311	3	B	
23	メンタルマネジメント	福島洋樹	月・2	人間 311	3	B	
24	救急法	布村忠弘	火・2	人間 331	5	A	
25	都市減災論	椚座圭太郎	火・4	人間 341	10	B	
26	平和学	池田丈佑	水・2	人間 111	5	B	パソコン使用（Moodle 使用）
27	熱とエントロピー	成行泰裕	月・3	人間 221	3	C	
28	物性化学概論	片岡　弘	火・3	人間 112	5	B	
29	環境化学	片岡　弘	金・3	人間 221	3	A	

学部名：人間発達科学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
30	環境コミュニケーション論 （教材としての公害・環境問題）	林　　衛	火・1	人間各演習室	3	B	パソコン使用 （Moodle 使用） 講義室については、別途お問い合わせください。
31	科学ジャーナリズム論 （市民社会メディア論）	林　　衛	水・1	人間各演習室	3	B	講義室については、別途お問い合わせください。
32	全地球史	椚　座　圭太郎	月・4	人間 112	5	B	
33	住環境論	秋　月　有　紀	水・1	人間 211	3	B	
34	衣環境論	孫　　珠　熙	火・3	人間 221	3	A	
35	ヒトの動きの力学的解析	鳥　海　清　司	火・1	人間 311	3	A	
36	筋機能向上プログラミング	鳥　海　清　司	金・5	人間 332	3	B	
37	栄養学	藤　本　孝　子	木・1	人間 211	3	B	
38	地球市民社会論	池　田　丈　佑	火・4	人間 221	3	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
39	国際政治学	池　田　丈　佑	木・2	人間 221	3	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
40	世界環境地理学	山　根　　拓	月・3	人間 142	5	B	
41	人間社会の地理学	山　根　　拓	木・5	人間 111	5	B	
42	地域経済史	根　岸　秀　行	火・4	人間 113	3	B	
43	日本社会史概論	中　村　只　吾	火・3	人間 117	5	B	
44	環境歴史学	徳　橋　　曜	木・4	人間 113	3	B	
45	ネットワーク社会史論	徳　橋　　曜	木・5	人間 211	5	B	
46	世界システム概論	徳　橋　　曜	金・4	人間 112	5	B	
47	ヨーロッパ地域史論	徳　橋　　曜	金・3	人間 112	3	B	
48	ネットワークリテラシー	黒　田　　卓	火・5	人間 341	3	B	
49	日本文学概論	西田谷　　洋	火・3	人間 342	3	B	
50	応用数学	山　口　範　和	月・3	人間 331	3	C	
51	数理解析	山　口　範　和	火・3	人間 331	3	B	
52	コンテンツデザイン概論	上　山　　輝	水・2	人間各演習室	5	A	講義室については、別途お問い合わせください。
53	メディア史	鼓　　みどり	木・2	総合情報基盤センター 2F	5	A	パソコン使用（端末室の授業。Moodle 使用）
54	情報コミュニケーション学特別講義	西田谷　　洋	木・3	人間 332	10	B	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：経済学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	担当教員氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	備考
1	ミクロ経済学Ⅰ	堂谷 昌孝	月1，木3	未定	5	B	
2	政治経済学	松山 淳	月2，木2	未定	5	B	
3	経営数学	古賀 さゆり	月2，木2	未定	若干名	B	
4	農業政策	酒井 富夫	月3，金2	未定	5	B	
5	経済法	中出 孝典	月3，金2	未定	3	B	
6	経済情報処理	唐渡 広志	月4	未定	3	B	パソコン使用（端末室の授業）
7	特殊講義　ロシア経済論	堀江 典生	月4	未定	10	B	
8	英米法	立石 孝夫	月4，木4	未定	10	B	
9	経営学入門	馬駿	火2	未定	3	A	
10	環境経済学	龍世祥	火3，金1	未定	10	B	
11	経済史総論	大西 吉之	火3，金1	未定	3	B	
12	開発経済学	金奉吉	火4，木1	未定	3	B	
13	管理会計論	森口 毅彦	火4，木1	未定	5	B	
14	基礎数学Ａ	横山 一憲	火5	未定	10	A	
15	現代経済入門	小柳津 英知	水1	未定	3	A	
16	現代経済入門	山田 潤司	水1	未定	3	A	
17	マクロ経済学Ⅰ	新里 泰孝	水1，金3	未定	5	B	パソコン使用（Moodle 使用）
18	地域社会学Ⅱ	高山 龍太郎	水1	未定	3	B	
19	入門法学Ⅰ Ａ	橋口 賢一	水2	未定	3	A	
20	金融機関論	本間 哲志	金4	未定	10	A	
21	中国経済論	今村 弘子	火6，火7	未定	5	B	
22	消費者行動論	坂田 博美	火6，火7	未定	5	B	
23	資源経済学	山本 雅資	水6，水7	未定	3	C	
24	経営史	長谷部 宏一	水6，水7	未定	5	A	
25	民事訴訟法	岩本 学	水6，水7	未定	3	B	
26	日本産業論	松井 隆幸	木6，木7	未定	5	B	
27	金融論Ⅰ	本間 哲志	金6，金7	未定	3	B	

学部名：経済学部

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
28	経営戦略論	内　田　康　郎	金6，金7	未定	3	B	
29	経営学特殊講義　ICT と未来社会を考える	岸　本　壽　生	火3	未定	10	B	

○大学院

学部等名：大学院経済学研究科

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	未定	未　定	土曜日に開講予定の北陸銀行との連携講座です。詳細が決まり次第、別途パンフレット、HP にてお知らせします。				

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部名：理学部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	線形代数学	数学科	阿　部　幸　隆	金・1	共通棟（未定）	若干名	C	(注 1)
2	微分積分学A	数学科	藤　田　景　子	木・5	理A424	若干名	C	(注 1)
3	線形代数学A	数学科	川　部　達　哉	水・1	理A424	若干名	C	(注 1)
4	解析学Ⅰ	数学科	上　田　肇　一	木・2	理A424	若干名	C	(注 1)
5	線形代数学Ⅰ	数学科	木　村　　巌	月・1	理A424	若干名	C	(注 1) パソコン使用 (Moodle 使用)
6	解析学Ⅲ	数学科	菊　池　万　里	木・3	理A424	若干名	C	(注 1)
7	解析学Ⅳ	数学科	藤　田　安　啓	火・4	理A424	若干名	C	(注 1)
8	線形代数学Ⅲ	数学科	川　部　達　哉	月・2	理A424	若干名	C	(注 1)
9	集合論	数学科	出　口　英　生	金・3	理A239	若干名	C	(注 1)
10	プログラミングⅠ	数学科	幸　山　直　人	水・3	理A424	若干名	C	(注 1)
11	代数学Ⅱ	数学科	木　村　　巌	月・3	理A424	若干名	C	(注 1) パソコン使用 (Moodle 使用)
12	幾何学Ⅰ	数学科	古　田　高　士	木・4	理A424	若干名	C	(注 1)
13	位相空間論Ⅱ	数学科	出　口　英　生	木・5	理A239	若干名	C	(注 1)
14	複素解析学Ⅱ	数学科	藤　田　景　子	金・4	理A424	若干名	C	(注 1)
15	実解析学Ⅱ	数学科	菊　池　万　里	火・2	理A424	若干名	C	(注 1)
16	微分方程式論Ⅱ	数学科	池　田　榮　雄	月・4	理A424	若干名	C	(注 1)
17	代数学特論B	数学科	山　根　宏　之	水・2	理A239	若干名	C	(注 1)
18	応用数理特論B	数学科	池　田　榮　雄	火・3	理A238	若干名	C	(注 1)
19	物理学概論Ⅰ	物理学科	池　本　弘　之	木・4	共通棟（未定）	5	A	
20	物理数学序論	物理学科	桑　井　智　彦	木・4	理A239	5	A	
21	電磁気学序論	物理学科	榎　本　勝　成	月・2	理A337	若干名	B	
22	物理数学B	物理学科	栗　本　　猛	金・3	理A337	5	C	
23	力学 A	物理学科	桑　井　智　彦	水2，金2	理A337	2	B	前半開講
24	力学 B	物理学科	桑　井　智　彦	水2，金2	理A337	2	B	後半 6/9 (金) ～開講，力学 A の内容を習得していること
25	物理実験学A	物理学科	森　脇　喜　紀	金・4	理C104	5	B	
26	電磁気学Ⅱ	物理学科	松　島　房　和	水・1	理A337	5	B	
27	量子力学Ⅰ	物理学科	栗　本　　猛	月・3，4	理A337	5	C	13,300 円
28	物理実験学B	物理学科	松　島　房　和	金・3	理A238	5	B	

学部名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
29	光学	物理学科	森　脇　喜　紀	金・２	理Ｃ１０４	５	B	
30	物性物理学Ｂ	物理学科	池　本　弘　之	水・２	理Ａ２３８	若干名	C	
31	核・素粒子物理学Ｂ	物理学科	栗　本　　猛	火・２	理Ｃ２０４	５	C	
32	化学概論Ⅰ	化学科	大　澤　　力	金・４	共通棟（未定）	若干名	A	
33	化学概論Ⅰ	化学科	鈴　木　　炎	金・４	共通棟（未定）	５	A	
34	基礎物理化学	化学科	柘　植　清　志	月・１	理Ａ３３７	５	A	
35	有機化学Ⅰ	化学科	宮　澤　眞　宏	火・５	理Ａ４２４	５	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
36	化学熱力学Ⅱ	化学科	鈴　木　　炎	月・２	理Ａ３３６	５	B	
37	量子化学Ⅱ	化学科	野　﨑　浩　一	水・１	理Ｃ２０３	５	B	
38	有機化学Ⅲ	化学科	林　　直　人	金・２	理Ａ４２４	５	B	
39	有機化学Ⅳ	化学科	井　川　善　也	水・２	理Ｃ２０３	５	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
40	触媒化学	化学科	大　澤　　力	火・１	理Ａ２３８	若干名	B	
41	分子物性学	化学科	野　﨑　浩　一	木・２	理Ａ３３６	５	B	
42	電気化学	化学科	阿　部　孝　之	水・２	理Ｃ２０６	若干名	B	
43	生体物質化学	化学科	井　川　善　也	月・１	理Ｃ２０３	若干名	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
44	高分子化学	化学科	吉　野　惇　郎	金・２	理Ｃ２０３	５	B	7,300 円 後半 6/2 (金)～開講
45	無機化学Ⅱ	化学科	柘　植　清　志	火・２	理Ａ２３８	若干名	B	
46	基礎細胞生物学	生物学科	菊　川　　茂	火・５	理Ａ３３７	５	A	
47	基礎植物形態学	生物学科	唐　原　一　郎	月・２	理Ａ２３８	５	A	
48	基礎系統学	生物学科	前　川　清　人	月・１	理Ａ２３８	５	A	
49	基礎生態学	生物学科	山　崎　裕　治	水・１	理Ｃ１０５	５	A	
50	分子生物学	生物学科	若　杉　達　也	木・２	理Ａ２３８	５	C	
51	進化生態学	生物学科	山　崎　裕　治	火・１	理Ｃ１０５	５	B	
52	地球科学概論Ⅰ	地球科学科	大　藤　　茂 酒　井　英　男 青　木　一　真	月・３	共通棟（未定）	若干名	B	
53	地球科学概論Ⅰ	地球科学科	松　浦　知　徳 石　﨑　泰　男 楠　本　成　寿	月・３	共通棟（未定）	若干名	B	
54	鉱物学	地球科学科	清　水　正　明	火・１	理Ａ３３６	若干名	B	
55	気象学概論	地球科学科	青　木　一　真 安　永　数　明	水・１	理Ａ３３６	若干名	B	
56	雪氷学概論	地球科学科	島　田　　亙	金・２	理Ａ３３６	若干名	B	

学部名：理学部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
57	地殻物理学	地球科学科	楠　本　成　寿	水・２	理Ａ３３６	若干名	B	
58	雪氷物理学	地球科学科	島　田　　亙	木・４	理Ａ３３７	若干名	C	
59	列島地質	地球科学科	大　藤　　茂	金・２	理Ｃ２０６	若干名	C	(注１)
60	資源環境科学	地球科学科	清　水　正　明	月・３	理Ａ３３６	若干名	B-C	
61	海洋物理学	地球科学科	松　浦　知　徳	月・１	理Ａ３３６	若干名	B-C	
62	生物圏環境科学概論	生物圏環境科学科	横　畑　泰　志 丸　茂　克　美	月・４	共通棟（未定）	若干名	A	
63	環境基礎生物学Ｂ	生物圏環境科学科	田　中　大　祐	月・２	理Ｃ２０３	若干名	B	
64	環境化学	生物圏環境科学科	丸　茂　克　美	水・２	理Ａ４２５	若干名	B	
65	水環境化学	生物圏環境科学科	波　多　宣　子	火・１	理Ａ４２４	若干名	B	関数電卓を用意すること
66	環境微生物学	生物圏環境科学科	田　中　大　祐 中　村　省　吾	木・３	理Ｃ２０３	若干名	C	
67	環境植物生理学	生物圏環境科学科	蒲　池　浩　之	火・２	理Ａ２３９	若干名	B	
68	海洋科学	生物圏環境科学科	張　　勁	木・２	理Ｃ１０４	若干名	B	
69	地球化学	生物圏環境科学科	堀　川　恵　司 張　　勁 丸　茂　克　美	金・１	理Ａ４２４	若干名	B	
70	環境保全化学	生物圏環境科学科	倉　光　英　樹	水・２	理Ｃ１０４	若干名	B	
71	環境同位体学	生物圏環境科学科	堀　川　恵　司	木・１	理Ｃ１０４	若干名	C	パソコン使用 (Moodle 使用)

（注１）当該授業科目受講のためには、開講時以前の全必修科目を取得しているのと同程度の学力を有することが必要です。受講を決める前に、必ず当該授業科目担当教員とよく相談してください。

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

学部等名：工 学 部

＊未定の教室については、受講希望調書の受付期間終了後に、社会貢献課より郵送にて案内を差し上げます。もし、試聴日までに連絡がない場合には、受講生窓口（社会貢献課）にお問い合わせください。

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
1	半導体デバイス２	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	木３	工27	5	C	
2	半導体デバイス演習	電気電子システム工学科	岡　田　裕　之	木４	工27	5	B	
3	力学	電気電子システム工学科	喜久田　寿　郎	月１	未定	5	A	
4	通信方式	電気電子システム工学科	安　藤　彰　男	火１	工27	5	B	
5	電気電子設計	電気電子システム工学科	大　路　貴　久	火２	工23	3	B	
6	アナログ電子回路１	電気電子システム工学科	中　島　一　樹	火１	工26	3	B	
7	センサ工学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	水１	工27	5	B	
8	化学	電気電子システム工学科	鈴　木　正　康	木３	工28	5	A	
9	電気エネルギー工学１	電気電子システム工学科	田　中　和　幸	月４	工27	5	B	
10	高電圧プラズマ工学	電気電子システム工学科	伊　藤　弘　昭	木２	工26	5	B	
11	電磁気学２	電気電子システム工学科	山　崎　登志成	火４	工28	5	B	
12	電磁気学演習２	電気電子システム工学科	伊　藤　弘　昭	木１	工21	5	B	
13	電気機器工学２	電気電子システム工学科	大　路　貴　久	水２	工27	5	B	
14	電気回路基礎	電気電子システム工学科	小　川　晃　一	木２	工25	5	A	
15	電磁波工学	電気電子システム工学科	藤　井　雅　文	火２	工27	5	B	
16	電気数学２	電気電子システム工学科	藤　井　雅　文	月４	工28	5	B	
17	線形代数	電気電子システム工学科	安　藤　彰　男	火４	未定	5	A	
18	微分積分２	電気電子システム工学科	喜久田　寿　郎	木４	未定	5	A	
19	微分積分１	電気電子システム工学科	金　　主　賢	水２	未定	5	A	
20	電気回路演習２	電気電子システム工学科	荏　戸　立　夫	木４	工32	5	B	
21	電子物性工学２	電気電子システム工学科	中　　茂　樹	月１	工28	5	B	
22	画像処理工学	知能情報工学科	堀　田　裕　弘	月２	工31	5	B	
23	線形代数Ⅰ	知能情報工学科	佐　藤　雅　弘	木４	工25	5	B	
24	微分積分Ⅰ	知能情報工学科	角　畠　　浩	月１	未定	10	A	
25	計算機アーキテクチャ	知能情報工学科	唐　　政	月４	工35	5	B	
26	生体情報処理	知能情報工学科	高　松　　衛	木３	工26	5	B	
27	音情報学	知能情報工学科	廣　林　茂　樹	金２	工35	10	B	
28	プログラミングⅠ	知能情報工学科	高　松　　衛	木１	未定	5	A	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
29	人工知能	知能情報工学科	参　沢　匡　将	火４	工26	5	B	
30	数値解析	機械知能システム工学科	瀬　田　　剛	水２	工36	5	B	
31	機械材料工学	機械知能システム工学科	会　田　哲　夫	木１	工28	5	B	
32	機械力学	機械知能システム工学科	木　村　弘　之	木４	工36	5	B	
33	機構学	機械知能システム工学科	関　本　昌　紘	金４	工34	5	B	
34	塑性工学	機械知能システム工学科	髙　辻　則　夫	木２	工34	5	B	
35	伝熱工学	機械知能システム工学科	平　澤　良　男	月４	工34	5	C	
36	工業数学Ａ	機械知能システム工学科	瀬　田　　剛	月４	工36	5	B	
37	生産加工学	機械知能システム工学科	髙　辻　則　夫 高　野　　登	金４	工25	5	A	
38	情報理論	機械知能システム工学科	ﾀﾁｱﾅ ﾆｺﾗｴｳﾞﾅ ｿﾞﾛﾂｷﾋﾅ	木３	工36	5	B	
39	応用熱力学	機械知能システム工学科	手　崎　　衆	火３	工34	5	B	
40	計測工学	機械知能システム工学科	田　代　発　造	月２	工34	5	B	
41	力学第１	機械知能システム工学科	小　熊　規　泰	火４	工35	5	B	
42	ソフトウェア工学演習	機械知能システム工学科	松　島　紀　佐 ﾀﾁｱﾅ ﾆｺﾗｴｳﾞﾅ ｿﾞﾛﾂｷﾋﾅ	金１	工34	2	B	パソコン使用 （端末室の授業）
43	流体機械	機械知能システム工学科	渡　邊　大　輔	火２	工34	5	C	
44	品質管理	機械知能システム工学科	小　熊　規　泰	火２	工32	10	B	
45	メカトロニクス	機械知能システム工学科	神　代　　充	金３	工34	5	B	
46	要素設計学第１	機械知能システム工学科	小　熊　規　泰	水１	工34	5	B	
47	生化学Ⅱ	生命工学科	佐　山　三千雄	月４	工23	5～10	B	
48	細胞代謝学Ⅱ	生命工学科	佐　山　三千雄	水１	工24	5～10	B	
49	基礎化学	生命工学科	星　野　一　宏	月３	工21	5	A	
50	バイオインダストリー	生命工学科	星　野　一　宏	金３	工24	5	A	
51	細胞工学	生命工学科	篠　原　寛　明	金２	工24	5	B	
52	無機化学Ⅱ	生命工学科	篠　原　寛　明	火１	工23	若干名	B	
53	電磁気学	生命工学科	川　原　茂　敬	水１	工11	5	A	
54	生物化学工学	生命工学科	森　　英　利	火４	工23	5	B	
55	物理化学Ⅱ	生命工学科	伊野部　智　由	木３	工33	5	A	
56	医用機械工学概論	生命工学科	森　　英　利	木２	工24	5	B	
57	生体医工学Ⅰ	生命工学科	中　村　真　人	月４	工24	10	B	
58	応用数学	生命工学科	黒　岡　武　俊	月２	工23	5	B	

学部等名：工 学 部

番号	授業科目名	学　科	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	備　考
59	有機化学Ⅱ	生命工学科	豊 岡 尚 樹	木１	工23	5	B	
60	無機分子工学	環境応用化学科	會 澤 宣 一	火５	工12	5	B	
61	物理化学Ⅱ	環境応用化学科	伊 藤 研 策	月２	工12	10	B	
62	生化学Ⅰ	環境応用化学科	中 路 正	木３	工11	5	A	
63	環境保全化学	環境応用化学科	加賀谷 重 浩	水２	工11	5	B	
64	分子構造解析	環境応用化学科	遠 田 浩 司	火２	工21	5	B	
65	分離分析化学	環境応用化学科	遠 田 浩 司	金２	工22	5	B	
66	有機化学Ⅲ	環境応用化学科	阿 部 仁	火１	工11	5	B	
67	有機化学Ⅰ	環境応用化学科	阿 部 仁	金３	工22	5	A	
68	応用数学	環境応用化学科	宮 崎 章	水２	工12	5	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
69	無機化学演習	環境応用化学科	宮 崎 章	火１	工21	5	B	パソコン使用 （Moodle 使用）
70	無機化学	環境応用化学科	會 澤 宣 一	金４	工22	10	A	
71	微分積分	環境応用化学科	菅 野 憲	水２	未定	5	A	パソコン使用 （Moodle 使用）
72	工学特論（エネルギー化学）	環境応用化学科	椿 範 立	金３	工31	10	C	
73	英語コミュニケーション	生命工学科， 環境応用化学科	キタノ アスカ	水３	エイノベ3	5	B	
74	英語コミュニケーション	生命工学科， 環境応用化学科	キタノ アスカ	水４	エイノベ2・3	5	B	
75	固体物性工学Ⅰ	材料機能工学科	並 木 孝 洋	月３	工31	5	C	
76	無機化学	材料機能工学科	畠 山 賢 彦	水２	工33	10	A	
77	材料工学序論Ⅰ	材料機能工学科	松 田 健 二	火１	工32	若干名	C	
78	応用数学	材料機能工学科	吉 田 正 道	木３	工32	5	B	
79	材料機能工学	材料機能工学科	佐 伯 淳	水１	工31	3	B	
80	特別講義 （科学技術英語ライティング）	大学院理工学教育部 （修士課程）全専攻	山 崎 登志成	水５	工11	10	D	

※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（社会貢献課）までお問い合わせください。

※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

高岡キャンパス



芸術文化学部

- A A 棟
- B1 B1 棟
- B2 B2 棟
- C C 棟 生協コンビニ
- D D 棟
- E E 棟
- F F 棟 [芸術文化図書館]
- G G 棟 [アリーナ]
- H H 棟 レストラン・売店（講堂）

<高岡キャンパス受講生窓口>

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム

〒 933-8588　富山県高岡市二上町 180

TEL　0766－25－9138　FAX　0766－25－9212

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P28 参照）に記載のとおりです。オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の三段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 29 年 4 月 10 日（月）～平成 29 年 7 月 27 日（木）**です。

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

授業日程については、あらかじめ決まっている「平成 29 年度前学期授業日程」でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **3月13日（月）から3月28日（火）まで** に下記高岡キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　芸術文化学部総務課　総務・研究協力チーム
〒933-8588　富山県高岡市二上町180
TEL 0766−25−9138　FAX 0766−25−9212
月曜日から金曜日の８：30から17:15まで受け付けています。
（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「試聴証」をお渡しします。この試聴証は、試聴時にお付けいただきますので、紛失されないようにご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。
なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。
また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、高岡キャンパス受講生窓口にご提出ください。**
高岡キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認のうえ、受講登録を行います。
受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。
・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、高岡キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他の費用（材料費等）は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、キャンパス内では必ず着用願います。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は学務チーム掲示板（A棟１階　学務チーム入り口前）で行います。受講開始後でも、教室等について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、**携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。**

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承くだい。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、高岡キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスには、駐車場がありますが、事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回学務チームの掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

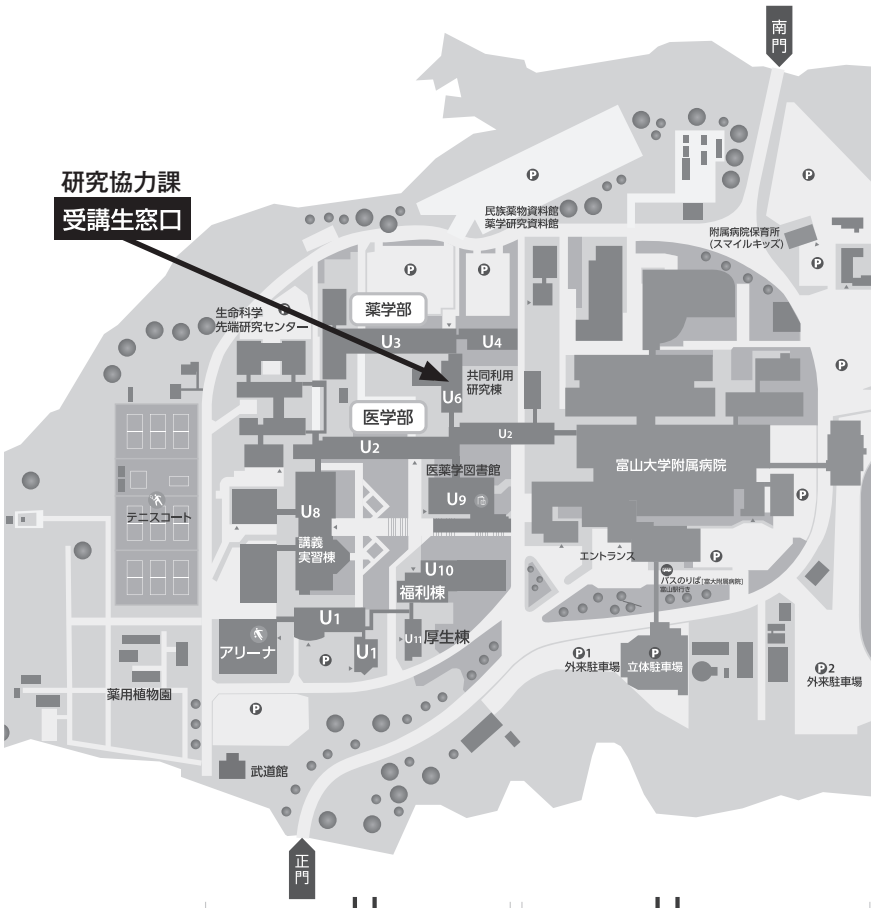
オープン・クラス授業科目一覧

学部名：芸術文化学部

番号	授業科目名	担当教員 氏名	授業曜日・時限	教室	募集定員	難易度	試聴日	備考
1	働態学	河原雅典	月・3	B-213	3人	B	4/10,4/17	
2	風景論	奥敬一	火・1	B-213	若干名	A	4/11,4/18	
3	木質建築材料	堀江秀夫	火・1	B-210	5人	B	4/11,4/18	木質材料入門の講義を受講しているか、またはそれに相当する知識を有している
4	西洋美術史B	松田愛	火・2	B-116	5人	B	4/11,4/18	西洋美術史Aを受講しているか、入門程度の知識を有していることが望ましい
5	造形材料（有機材料1）	村田聡	火・3	E-456	若干名	B	4/11,4/18	大学の化学基礎の単位を履修した程度の予備知識を有しているものを対象
6	日本美術史B	大熊敏之	火・3	B-116	若干名	B	4/11,4/18	
7	人間工学概論	河原雅典	火・4	B-212	3人	A	4/11,4/18	
8	日本美術史A	三宮千佳	火・4	B-213	若干名	A	4/11,4/18	
9	中国の言語と文化	山田眞一	火・4	B-210	若干名	C	4/11,4/18	現代中国語の辞書が引けること
10	材料力学	堀江秀夫	火・5	E-456	5人	B	4/11,4/18	高校において物理、数学Ⅲを履修していることが望ましい
11	化学物質の世界	村田聡	水・1	E-456	若干名	A	4/12,4/19	高校の化学の単位を履修した程度の予備知識を有しているものを対象
12	地域と文化	島添貴美子	水・1	C-437	若干名	A	4/12,4/19	真摯な授業態度を求めます
13	工芸史	大熊敏之	水・2	B-116	若干名	B	4/12,4/19	
14	まちづくり	武山良三	木・3	B-213	若干名	A	4/13,4/20	学外での調査やワークショップがあります
15	人間工学設計法	河原雅典	木・4 木・5	B-117	3人	B	4/13	13,300円
16	漆加飾A	林暁	木・4 木・5	D-131 D-132	1名	C	4/13	作業服・材料費・蒔絵道具が別途必要です 13,300円
17	ものつくりのための描写演習	三船温尚	金・1	B-113 B-212	2名	A	4/14,4/21	学生受講者数等を勘案して受入を判断する
18	造形金属材料基礎	長柄毅一	金・1	E-456	若干名	A	4/14,4/21	
19	CADデザイン演習	林暁	金・1	C-223	若干名	B	4/14,4/21	パソコン使用（端末室の授業） Rhinocerosの基礎知識が必要です
20	工学基礎	村田聡	金・3	E-456	5人	B	4/14,4/21	高等学校数学Ⅱ、物理基礎、化学基礎程度の知識を前提として授業を行います。 関数電卓持参
21	映像文化論	深谷公宣	金・3	講堂	2～3人	A	4/14,4/21	
22	立体演習B	平田昌輝	金・4 金・5	B-112	2名	A	6/2	学生受講者数等を勘案して受入を判断します。作業服・材料費が別途必要です。 13,300円。6/2の5限から※要：傷害保険加入
23	金属工芸技術史概論	三船温尚	金・4	B-212	5人	C	4/14,4/21	

※教室の収容人数の都合及びパソコン等機器の不足により受講できない場合があります。
※備考欄に「パソコン使用」とある場合は、授業でパソコンを使用します。別途利用手続きが必要となりますので、受講生窓口（芸術文化学部総務課総務・研究協力チーム）までお問い合わせください。
※授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

杉谷キャンパス



医学部

- U1 看護学科研究棟
- U2 医学部研究棟

薬学部

- U3 薬学部研究棟

- U6 共同利用研究棟
- U8 講義実習棟
- U9 医薬学図書館
- U10 福利棟
- U11 厚生棟

<杉谷キャンパス受講生窓口>

富山大学　研究協力課

〒 930-0194　富山市杉谷 2630

TEL　076－434－7144　FAX　076－434－4656

通常は月曜日から金曜日の 8：30 から 17：15 まで受け付けています。（祝日を除く）

Ⅰ　実　施　形　態

（公開授業科目）

1　公開する授業科目は、「オープン・クラス授業科目一覧」（P34 参照）に記載のとおりです。

オープン・クラス授業科目一覧中の難易度は、授業の内容に応じて、次の四段階に区分していますので、参考にしてください。

難易度のめやす

A　入門的な内容であり、高等学校卒業程度の学力を必要とするもの（大学１年次生対象の授業）

B　より進んだ内容であり、当該専門分野についての一定の基礎知識が必要となるもの（大学２～３年次生対象の授業）

C　高度な内容であり、当該専門分野について系統立てた学習がなされていることを前提とするもの（大学３～４年次生対象の授業）

D　高度の専門性を要する内容であり、大学卒業程度の学力を必要とするもの（大学院対象の授業）

（募集定員）

2　募集定員は、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載のとおりです。

なお、募集は先着順にて受付けますので、「オープン・クラス授業科目一覧」に記載の募集定員を超えた場合や学生の受講数が多かった場合には受講できないことがあります。

（開講期間）

3　**開講期間は、平成 29 年４月 10 日（月）～平成 29 年７月 27 日（木）**です。

（一部、開講期間が異なる科目があります。その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」を参照ください。）

授業日程については、あらかじめ決まっている休講日及び曜日を変更して実施する授業等があります。詳細は、必ず、表紙裏の平成 29 年度前学期授業日程でご確認ください。

（試聴授業）

4　「オープン・クラス授業科目一覧」に記載する試聴日の授業は、試聴授業として扱います。

（修了証書）

5　オープン・クラスの受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。また、学期末の試験等は課しません。

なお、全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により修了証書を発行いたします。発行を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

（県民カレッジの単位認定）

6　オープン・クラスは、県民カレッジ（富山県民生涯学習カレッジ）との連携講座です。全授業回数の 2/3 以上受講された方には、希望により、時間数に応じて（１時間を１単位とし、５単位刻みで認定）、県民カレッジの単位が認定されます。単位認定を希望される場合には、受講生窓口にお申し出ください。

Ⅱ　受　講　手　続

（受講希望調書の提出）

1　本要項の巻末に添付してある「受講希望調書」を **３月 13 日（月）から３月 28 日（火）まで** に下記杉谷キャンパス受講生窓口に直接提出していただくか、郵送あるいはＦＡＸでお送りください。

富山大学　研究協力課
〒 930-0194　富山市杉谷 2630
TEL　076 － 434 － 7144　FAX　076 － 434 － 4656
月曜日から金曜日の８：30 から 17:15 まで受け付けています。（祝日を除く）

2　「受講希望調書」を提出された方には、「受講届」の用紙及び「リボン」をお渡しします。このリボンは、試聴時に付けていただきますので、紛失されないようご注意願います。

（受講の試聴日）

3　受講生が、授業の概要を確認し、受講する科目を決定していただくため、「試聴日」を設けます。試聴日終了までに受講科目を確定していただき、受講科目の登録を行ってください。

なお、試聴日は「オープン・クラス授業科目一覧」に記載してあります。

また、授業担当教員の都合により休講となる場合もありますので、掲示に注意願います。

（受講科目の登録）

4　受講する科目を決められた方は、「受講届」に授業科目名等を記入し、**試聴日に授業担当教員に提示し、確認のサイン等を受け、杉谷キャンパス受講生窓口にご提出ください。**

杉谷キャンパス受講生窓口では、「受講届」を確認の上、受講登録を行います。

受講登録の際に必要となる書類等は次のとおりです。

・受講届
・受講料
・運転免許証、保険証等の身分を証明できる書類等

（受講料の納付等）

5　受講登録と同時に、杉谷キャンパス受講生窓口で受講料を納付してください。受講料は本学が定める公開授業受講料により徴収させていただきます。

１授業科目　　9,300 円（税込）

（**一部、受講料が異なる科目があります。**その授業科目については、「オープン・クラス授業科目一覧」の備考欄を参照ください。）

なお、いったん納入された受講料は、理由のいかんを問わず、返還できませんので、あらかじめご了承ください。

また、受講生が授業で使用するテキスト代及び授業に係るその他費用は、受講生の負担となります。シラバス及び担当教員の指示に従って、ご自身でご用意ください。テキストは富山大学生協で取り扱っています。

（受講証の交付）

6　受講料を納付された方には受講証をお渡ししますので、来学の際は携帯されるようお願いします。複数の授業科目を受講する場合でも、受講証は１部のみの発行となります。

Ⅲ　受講に際して

（受講生の義務）

1　受講生は、受講に当たり本学が行う教育及び研究に支障をきたさないよう努めていただくとともに、授業担当教員の指示に従ってください。また、本学構内で勧誘行為等を行うことを禁止いたします。

（受講の停止）

2　受講生が義務に違反し、本学の秩序を乱し、または受講生としてふさわしくない言動があった場合、受講を停止することもあります。

なお、受講停止の場合であっても、既納の受講料は返還できません。

（休・補講、教室変更について）

3　これらの連絡は教員の指示や学部等掲示板で行います。受講開始後でも、教室について変更する可能性があります。ご注意ください。

また、携帯電話やパソコンからも授業の掲示情報を確認できます。詳細は、本要項の最終ページ（裏表紙の裏）を参照ください。

（受講生の呼び出し等）

4　授業中その他、受講生への連絡や呼び出しには、応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、授業中は、携帯電話の電源をお切りください。

（図書館の利用）

5　附属図書館は市民一般に開放しています。資料の貸出を希望される場合には、附属図書館のカウンターにて利用手続きを行ってください。

（福利厚生施設の利用）

6　受講生は、売店、食堂等の施設を利用することができます。

（損害賠償）

7　受講生が本学の施設、設備等を破損したときは、届け出てください。その損害を賠償していただくことがあります。

（保険制度）

8　授業内容により、一部保険加入が必須となる科目がありますのでご注意願います。加入手続きは、杉谷キャンパス受講生窓口で行ってください。

（通学方法）

9　キャンパスは駐車スペースが少ないので、公共の交通機関等をご利用ください。なお杉谷キャンパスの駐車場は有料となっております。

　自家用車でのトラブルや事故が起きた場合、大学側では責任を負いかねますので、ご了承願います。

Ⅳ　そ　の　他

1　授業内容の紹介（シラバス）は、本学ホームページの「Web シラバス（授業案内）」（http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/syllabus/）に掲載されておりますのでご覧ください。（トップページから「キャンパスライフ」あるいは「在学生・教職員」のメニューをクリックしてください。）

「オープン・クラス」に関する授業内容等については、下記においてもお問い合わせできます。

医薬系学務課　学部教務チーム　　TEL ０７６－４３４－７１３１

2　授業科目の授業曜日・時限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承ください。授業開始前には、毎回各学部の掲示板をご覧ください。

3　受講に際しご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

オープン・クラス授業科目一覧

○教養教育

学部等名：教養教育（杉谷）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	解析学 A	笹　野　一　洋	水・5 金・2	203	若干名	A	4/12	パソコン使用 （Moodle 使用） 高校の数学Ⅲを理解していること。
2	解析学 B	笹　野　一　洋	火・3	大講義室	若干名	A	4/11	パソコン使用 （Moodle 使用） 高校の数学Ⅲを理解していること。
3	英語Ⅴ a	キタノ　アスカ	金・3	401	若干名	B	4/21	

○専門科目

学部等名：医学薬学教育部（博士課程）

番号	授業科目名	担当教員 氏　名	授業曜日 ・時限	教　室	募集定員	難易度	試聴日	備　考
1	臨床統計学の基礎	折　笠　秀　樹	月・7	402	10	D	4/10	8回開講予定

※授業曜日・制限及び教室については、受講開始後でも変更することがありますので、あらかじめご了承願います。なお、諸連絡は、授業担当教員の指示及び掲示により行います。授業開始前には、毎回当該学部の掲示板をご覧ください。

平成　　年　　月　　日

平成 29 年度前学期
富山大学　オープン・クラス（公開授業）
受講希望調書

住　　所	〒		
フリガナ 氏　　名		性　別	男・女
電　　話 （携帯電話）			
年　　齢			
生涯学習メールマガジンの配信を希望される方は、e-mail アドレスをご記入ください。 e-mail			

富山大学オープン・クラス（公開授業）として、下記授業科目の受講を希望します。

記

学部名等		
授業科目	番　号 （　　）	
担当教員		
授業曜日・時限	曜日　　限	
授業でのパソコン使用	（該当する方に○を付けてください） 有　・　無 （有の場合） 端末室の授業 ・ Moodle 使用	※科目一覧の備考欄に「パソコン使用」とある場合に、授業でパソコンを使用します。別途手続きが必要となります。

※　本調書は、1 授業科目ごとに 1 枚とし、**3 月 13 日（月）から 3 月 28 日（火）まで** に各キャンパス受講生窓口に提出してください。郵送あるいは FAX も受け付けます。複数の授業科目の受講を希望される方は、本用紙を複写して使用願います。
　なお、募集定員を超えた場合には、受講できない場合があります。

※　「オープン・クラス」の受講生には、単位認定を行いませんので、あらかじめご了承願います。

※　ご記入いただいた個人情報（お名前や連絡先等）は、今後の講座案内等の送付やアンケート調査、講師への情報提供、及び県民カレッジの単位申請にのみ利用し、その他の目的では利用いたしません。

（切り取り線）

オープン・クラス受講生の方へ

携帯電話・パソコンで授業の掲示情報が確認できます。

授業の休講・補講の情報や、緊急情報を携帯電話やパソコンから確認することができます。

掲示情報（携帯・パソコン共通）のＵＲＬは、下記のとおりです。

http://syllabus.adm.u-toyama.ac.jp/keitai_info/

ＱＲコードに対応する携帯電話をお持ちの方は、
左のＱＲコードからアクセスできます。

＜留意事項＞

＊本サイトの情報はあくまでも補足的なものです。必ず、学内掲示板をご確認願います。なお、学内掲示板と掲載内容が異なる場合は、学内掲示板の内容が優先します。

＊掲示の内容は 10 分毎に最新の掲示情報に更新されます。

＊台風や地震などによる全学一斉の休講通知のような、速報性の高い情報は緊急情報から確認できます。

五福キャンパス

〒930-8555 富山市五福3190

（人文学部、人間発達科学部、経済学部、理学部、工学部）



高岡キャンパス

〒933-8588 高岡市二上町180

（芸術文化学部）



杉谷キャンパス

〒930-0194 富山市杉谷2630

（医学部、薬学部）



富山大学 地域連携推進機構 生涯学習部門

〒930-8555　富山市五福3190　TEL076-445-6956　FAX076-445-6033

ホームページアドレス　http://www.life.u-toyama.ac.jp/

Eメール：lifelong@ctg.u-toyama.ac.jp

リサイクル適性Ⓐ

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。